

議会だより さかき

# Tomorrow

No. 111

平成20年1月31日

## 主な内容

- ・ 町営住宅建設決まる …………… 2P
- ・ 一般質問12名 …………… 4P



## 住宅建設

中之条団地24戸

2階建 2億4千620万円

第4回定例会は12月4日に開会され、町長の専決処分事項の報告、条例の改正

橋梁災害復旧工事（昭和橋）、町営住宅中之条団地建設工事請負契約の締結

一般会計および特別会計補正予算等が提案され、いずれも原案どおり可決し

14日に閉会した。一般質問には、12名が登壇した。

### 条例

◎政治倫理の確立のための  
坂城町長の資産等の公開に  
関する条例の一部を改正す  
る条例について

（全員賛成可決）

郵政民営化により、郵便  
貯金が他の金融機関と同様  
に預金として扱われること  
有価証券の定義が拡大し、  
信託受益権が有価証券とみ  
なされることでの用語の改  
正である。

◎坂城町税条例の一部を改  
正する条例について

（賛成多数可決）

健康保険法等の一部を改  
正する法律等の公布に伴い  
20年4月から国民健康保険

税の特別徴収を実施するた  
め条例を改正するもので、  
世帯内の国民健康保険被保  
険者全員が65歳以上で、年  
額18万円以上の年金を受給  
している世帯主は、特別徴  
収となる。また、介護保険  
料と国民健康保険税の合算  
額が、年金額の $\frac{1}{2}$ を超える  
場合は、介護保険料が優先  
し、国民健康保険税は普通  
徴収になる。

◎坂城町一般職の職員の給  
与に関する条例の一部を改  
正する条例について

（全員賛成可決）

人事院勧告に伴い、職員  
の給与に関して改正を行う  
ものである。初任給を中心  
に若年層に限定した給料月  
額の引き上げと、配偶者以

### 事業施行

◎中沢地区土地改良事業の  
施行について

（全員賛成可決）

農山漁村活性化プロジェ  
クト支援交付金事業により  
中之条用水の老朽化と、し  
なの鉄道横断部分の水路断  
面不足に伴う周辺の、冠水  
防止のための整備を行う。  
また、漏水の激しい坂城  
地区梅ノ木ため池の整備を  
行い、農業経営の安定化等  
を図るものである。

# 町営

## 鉄筋コンクリート



無病息災を願って まゆ玉（中之条）

### 請負契約

#### 昭和橋

#### 災害復旧工事

7千182万円

◎平成19年度公共土木施設災害復旧事業橋梁災害復旧工事（昭和橋）請負契約の締結について  
（全員賛成可決）

台風9号の影響で被災した昭和橋は、19年11月30日に入札し、7千182万円で（株）守谷商會が落札した。工事概要は、復旧延長74m、橋脚3基の根固工と護床工を行う。また、ブロックを約700個製作するため、一定の期間が必要なことや千曲川の濁水期（11月～3月）の施工と、制限されるため工期は21年3月27日までである。

◎町営住宅中之条団地A棟建設工事請負契約の締結について  
（全員賛成可決）

老朽化した町営住宅の整備を図るため、19年12月11日に入札を行い、1億2千180万円で岡谷・関口建設共同企業が落札した。契約の内容は、延べ床面積653・91㎡で、高齢者・単身世帯向けの1DKが8戸、子育て世帯向けの3LDKが4戸の計12戸の建設工事。

◎町営住宅中之条団地B棟建設工事請負契約の締結について  
（全員賛成可決）

同日に入札を行い、1億2千442万5千円で神稲・中信建設共同企業が落札した。床面積、戸数はA棟と同じで、ほかに外構工事が含まれている。

### 補正予算

◎平成19年度一般会計補正予算（第5号）について  
（専決 全員賛成承認）

（専決 全員賛成承認）

#### 〔歳出の内容〕

◇昭和橋の橋脚ほか町道4箇所に係る道路橋梁災害復旧事業1億2千140万円

◎平成19年度一般会計補正予算（第6号）について  
（全員賛成可決）

#### 〔歳出の主な内容〕

- ◇重度障害者に係る福祉医療費 800万円
- ◇災害復旧に係る欠口土地改良区負担金135万円
- ◇除雪費 300万円
- ◇坂都2号線に係る県事業負担金 974万円
- ◇村上小学校体育館の耐震化工事 1億4千万円
- ◇A01号線道路改良事業 △900万円
- ◇A09号線道路改良事業 △3千180万円

◎平成19年度一般会計補正予算（第7号）について  
（全員賛成可決）

#### 〔歳出の内容〕

◇人事院勧告に基づく給与改定による人件費 512万円

# ここが聞きたい！ 一般質問



今年もがんばるぞ

（一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています）

**問** 健全なる財政運営を目指す国・地方は行財政改革で歳出の削減を図っている。坂城町の行財政改革は、19年度末で第一次期限を迎える。その成果を活かした今後の町政運営の方向は、**町長** 従来からの経緯・継続性にとらわれず、費用対効果と施策相互の整合性を図り、収支改善と行財政運営の健全化・透明化に努める。また、団体の運営に對



林 春江

理事者も収納アップへ

どうする!!  
未済額3億円余

する補助は原則として行わない方向で進める。**問** 18年度決算財政指標によると、町の財政力は上位であるが経常収支・実質公債費比率は悪化しており財政の厳しさがうかがえる。**町長** 健全化に向けた町長の考えは。また、経常収支に占める人件費比率が県内市町村の中で突出して高いが。**町長** 将来世代の負担を極力抑え義務的経費に左右さ

れない財政体質をつくっていくことが肝要と考える。人件費については定年を控えた職員が多いことによる**問** 18年度決算一般・特別会計合わせた収入未済額は約3億3千万円に上り、年々増加している。負担の公平性から徴収体制をさらに強化すべきと考えるが。**町長** 税の徴収・賦課には公平性が求められる。理事者も含め収納率アップには最善を尽くしていく。**問** 情報共有に向けての財政分析等、町の全体像を示す冊子の発刊予定は。**町長** 町政要覧、財政状況資料を兼ね備えたものを来年度当初に全戸配布する。

林 春江 議員 4 P

- ①20年度予算編成に向けて
- ②行財政改革について

円 尾 美津子 議員 5 P

- ①20年度予算編成について

宮 島 祐 夫 議員 5 P

- ①20年度予算編成の重点施策について
- ②多様化する農業施策について

安 島 ふみ子 議員 6 P

- ①妊婦健診の助成拡充を
- ②食育のまちづくりについて
- ③AEDについて

中 嶋 登 議員 6 P

- ①スクールゾーンについて
- ②ノーテレビデーについて
- ③福祉温泉について

大 森 茂 彦 議員 7 P

- ①地域経済の活性化について
- ②子どものすこやかな成長のために
- ③入れ歯のリサイクルの取り組みについて

柳 沢 昌 雄 議員 7 P

- ①広域連合について
- ②土地開発公社について
- ③A01号線の進捗について
- ④原油高騰について

田 中 邦 義 議員 8 P

- ①最近の学校教育に関する情報の確認について
- ②協働でものづくりを託す人材(財)育成を
- ③町土地開発公社の経営健全化について

柳 澤 澄 議員 8 P

- ①食育について
- ②駐車場が不足している
- ③下水道事業の今後は

春 日 武 議員 9 P

- ①見えにくい広域化

山 城 賢 一 議員 9 P

- ①自律のまちづくりを問う
- ②今後の施策展開について

入 日 時 子 議員 10 P

- ①職員体制について
- ②図書館について
- ③歩道の設置について

## 早い時点での見極めを



2年くらいの中で

円尾 美津子

問 創造学園大学誘致という事でオリンピックパス跡地を購入した。7月に文部科学省・厚生労働省へ認可申請をするという。そのためには建設場所の決定が必要である。準備状況を把握しているか。大学誘致の見通しはどうか。

町長 医療分野の申請には事前審査もあり、なかなか先が見えてこない。新年早々に一定の方向が示されることを期待している。大学の状況や町としての財政支援の限界値を見つめて、慎重に対応したい。

問 土地開発公社が特別安い価格で購入したが、6億円は一般会計の1割に相当する。町が借金を抱えることに変わりない。大学が町にくることは、客観的な条件を考えると難しいと私は思う。申請がもう一年延びたらどうするのか。土地の有効活用について、早い時点での見極めが必要と思うが。

### 減債計画は

問 財政指標が変わる。起債残高をどう減らすか。

町長 起債は後に負担してもらおう性格がある。財政が許す限り有効な手だてがあれば、繰上げ償還も進めながら起債の減額に努める。

## 20年度の予算編成は

行財政改革推進計画策定



宮島 祐夫

問 「地方でできる事は地方で」の原則の下に自立を目指すまちづくりの、20年度予算の重点施策は自己決定下に自助努力と自己責任による。住民に受益と負担の関係が明確に認識される行財政運営は。

町長 自律のまちづくりへの道しるべとして「行財政改革推進計画」を策定し、厳しい財政状況であるが積極的な取り組みを図る。将来世代の負担を極力抑え、公債費等の義務的経費に左右されない財政体質へ

経常経費の徹底した削減と

財政確保により、町民のサービス向上に努める。

### 地域農業の果たす役割

問 農業・農村は農業生産活動を通じ、食糧の供給に加え、自然環境の保全や緑の景観の提供、文化の伝承等の公益的機能を発揮し、果たす役割は重要な意義を持っている。農村の多様な機能を活かした、まちづくりの振興策は。

町長 農村環境の保全を重視した農業生産への転換が求められおり、農地・水・環境保全向上対策事業を創設し、上平区において「上平を元気にする会」を立ち上げ、活動をしている。町内の他の地域でもこのような芽出しができる事を推進していきたい。

問 農業振興条例を農業情勢の変化に対応するために見直しをすべきである。

宮崎産業振興課長 農業を取り巻く環境は厳しさを増している。町農業の特徴に合った条例の検討の余地もあるものと考えられる。



新しくなった人気の樽風呂

# 無料妊婦健診2回を5回に



20年度より助成拡充

安島 ふみ子

**問** 厚生労働省は、妊娠中毒症や切迫流産など、母子の健康状態をチェックする妊婦健診について、出産までに14回の受診が望ましいとしている。しかし、この健診費用は、保険適用外のため経済的負担が大きい。当町では、現在、前期・後期の2回、公費負担を実施している。是非、20年度予算に5回以上の健診助成拡充が盛り込まないか。

**町長** 少子化の解消の一助にすること、積極的な妊婦健診の受診を図るため拡充は必要であると考える。



健やかな成長を願って

20年度に向けては、5回を目途に検討していく。

## 給食センター建設の財源

**問** 新給食センターの建設候補地が、中之条地籍にほぼ決定した。建設検討委員会でその後、協議されているが、財源はどうするのか。

**国**の学校給食施設整備交付金は、それ程、多くないと聞いている。これ以上、借金をして、後世につけをまわしていくことは、非常に厳しい。財源をどのように確保するのか。

**町長** 給食センターが単に学校給食にとどまらず、町全体、町民の皆さまの「食育」の拠点であることを期待している。町民の生涯にわたる健康、地産地消という面からの取り組みのできる「食育・給食センター」を模索している。

建設費は、約6億円を見込んでいます。「まちづくり交付金」も利用できないか、町保有地の売却ができないか、さまざまな手法で財源を確保していきたい。

## 坂中西側に歩道を

安全だとは思っていない



中嶋 登

**問** 坂中の通学路で、特に危険な箇所がある。グラウンド西側の逆木通りから校門までの間で、道幅の広いところで約5m、狭い所では3m50cm、平均で4mである。また近くに、S製作所の出入口があり、大型トラックが1日約20台出入りしており「大変危険で苦慮している」とのことである。また、生徒の登下校の時、鋼材搬入、出荷などと重なり一層危険度が高くなっており、早急に歩道を造り、生徒を守ってほしい。

**町長** この道は、安全だとは思っていないが、基幹道路の整備が優先である。

**ノーテレビディーを**

**問** テレビやゲームなど、電子機器が脳に悪影響を及ぼし「子どもに異変が起きている」とショックキングな内容の講演を、清川輝基先生より聞いた。幼児から中学生まで、月一回のノーテレビ、ノーゲームの日を設定できないか。

**西沢教育文化課長** ノーテレビディーの良いこともわかっているのですが、参観日などを通じPRして行きたい。

## 湯さん館に福祉の湯を

**問** 180度見渡せる絶景に、弱者である高齢者や、体の不自由な皆様に健常者と同じように、露天風呂付福祉の湯を造り、町の資産を共有できないか。

**町長** 提案は、共感できるが色々知恵を出し合う中で、同じ温泉を使う坂城ふれあいセンターの施設を、利用してもらう。

# 一歳児保育は5対1に

国基準の6対1で



大森 茂彦

問 一歳児保育は月齢で成長の度合いに大きな差がある。自分の要求を言葉で伝えることができないうため、保育士は一人ひとりとコミュニケーションをとることが大切だ。途中入所の子もいる。子どもたちや保育士にも、精神的に大きな負担である。乳幼児6人に対し保育士一人を町独自で5対1に見直し、臨時保育士は6カ月雇用でなく1年雇用を求める。

町長 厳しい財政の中、まず基準を守る。たとえパパート的な雇用であっても、その組の責任者は一年雇用である。  
中沢子育て推進室長 入園当初やその他必要に応じて加配保育士を入れている。  
問 今後5年間で19人中9人の保育士が定年退職にな

る。退職人数分の新規採用では、今の保育内容が維持できない。どうするのか。  
子育て推進室長 園児数の推移を勘案しながら、計画的な採用が必要である。不足分は臨時保育士で対応する。

## 小規模事業者登録制度を

問 18年度の随意契約の維持補修で553件9千600万円に上る。これらを契約係が一括管理し、工事受注希望者に登録してもらい広く仕事を出していく制度の創設を求める。  
赤池企画政策課長 一括管理について、迅速で確実な対応が求められるので、内容を熟知している担当課の処理がよい。登録制度の創設は慎重に対応する。

# 6億円の資金計画は

資金面は控えたい



柳 沢 昌 雄



活用を待つオリンパス跡地

問 町の課題で最も関心事はオリンパス跡地である。土地開発公社は約4万6千㎡を約6億円で購入した。多額の投資であるが購入資金計画が明解でない。町民に理解を得るためにも詳細な資金計画を示すべきで、それが行政の説明責任でもある。  
町長 坪約4万3千円の価格で、オリンパスが町にお世話になったからと、特別価格で設定されたもので、

そういう面から負担はないこれから生かせる土地だと理解していただき、創造学園大学薬学部あるいは、先端企業の利器を両面からの対応ということでの確に運営したいと思っている。大学がどれだけの資金需要と明確にされない段階であるので、その面については控えさせていたいただきたい。

## 保有地以外の対応は

問 町内企業のなかには非工場用地が欲しいと要望されている。公社保有地をどのように生かしていくかが課題であるが、それ以上の面積を求めている状況である。企業の要望に答えられる土地を考えているか。  
町長 企業の大手と会社の将来計画、用地需要状況を話し合っている。2、3社から比較的大きな要望もある。プロジェクトチームもつくり、テクノ工業団地の南側と西側を広げていく手法はできないか検討している。常に2ha位の余裕を持つことも大事だと思う。

# ものづくりを託す人材育成

## 人材育成は町づくりの基盤



田中 邦義

問 地域経済力に裏付けされた財政力の格差が、医療や福祉、子育て環境など生活権や社会保障の給付格差につながる。地域力の源泉である民間活力対策として高付加価値型のものづくり(産業を託す、町の人材(財)育成を企業や住民、NPOなどと協働で①子ども理科クラブ(寺子屋方式)②理工系学生支援の奨学金制度③小学校の一学年一作物づくり運動など、町ならではの特色ある施策の受皿づくりに、取り組むべきでは。

町長 人材育成は町づくりの基盤で、長期計画に位置づけ、地域力を高める大きな課題としている。  
教育長 子ども達の科学教室や、学校毎に体験活動に取り組んでいる。学校が主体性を堅持しつつ、地域や

育成会などの支援協力、サポートで充実され、将来、主体的に実施されることを願う。  
西沢教育文化課長 理工系学生奨学金について、企業の意向を踏まえ検討する。

## 学力テストの公表は

問 18年4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果は、町内学校はどうか。  
教育長 3月定例議会での答弁で「公表しない」と、議員の皆さんに理解を得ており、公表は行なわない。

問 土地開発公社の健全化を。5年以上の塩漬け土地(簿価)と借入金残額は。赤池企画政策課長 それぞれの額は、9億2千600万円と、17億7千万円である。

# 手のひらで豆腐切る食育を



## 給食センターを拠点も

柳澤 澄



伝統を伝えるしめ縄づくり(南条小学校)

問 体力維持増強のための食が、飽食美食を求める時代になってきている。「食育」は給食や子どもだけの問題でない。手のひらに豆腐を乗せて包丁で直接切る、誤れば手が切れて痛い、これは食文化。食の歴史、食材の生産、地産地消、観光そして病氣予防的な料理教室等すべてを含めた拠点の「食育センター」を考えないか。  
町長 食育は行政の中に定着し、関心が深い。町内で

も通用する大事なことだ。家庭の食の習慣も文化だ。給食センター建設に6億円かかるのに文科省からは5千万円で悩んでいる。大事な食育のいろいろ兼ねた拠点を給食センターにと考えてもいた。給食センター交付金と食育という点で町づくり交付金が使えないかあちこち折衝している。

## 下水道早める方策は

問 下水道、最初に使用できた者と最後の者で30年も差があるのは問題だ。方策を考えてみる話があったがその後どうか。離れた集落への対策は。  
町長 いろいろな方策を考えても、なかなか無い。流域下水道の負担が減ってきたので、町の最優先事業として、先へ送れるものは遅らしても工夫して頑張る。

小綱については、網掛から空間が長いので、浄化槽といった方法でどうか、良ければ町も力を入れて2、3年のうちにと提案した。

# 葛尾焼却場は26年まで

なにがなんでも  
千曲市に責任がある

春日 武



問 ごみ処理問題で長野広域連合と坂城町とでは主張に大きな差がある。見えにくい広域化が進む連合内の実態はどうなのか。

町長 広域でやればより自治、住民生活がよくなるというものに限るべきだと申上げているが、必ずしもその方向にはいっていない。

問 長野広域連合は、ごみ焼却場を平成26年までに千曲市に建設することに決定した。この検討状況書の中

で千曲市中区への建設案が白紙撤回とある。

葛尾焼却場は平成26年までと決まっている。21年からさらに5年間もの延長をしたのだが再延長も視野に入れるのか。

町長 葛尾で坂城町が長年担当したから今度は千曲市だといふなかでの対応だ。26年稼働に向けてなにがなんでも千曲市には責任があるし、連合としても責任を合せ持つよう求めた。

報道によれば、千曲市長は小学校単位の9地区で説明会を開き、受入れ地域の募集をするということであり、他の広域とも比してユニークな提案と思う。

問 消防の広域化で、県内を2ブロックに再編するという県の原案に千曲坂城消防組合も同意の意向だが。

町長 坂城は4ブロックになると長野広域になるが、上田広域とも隣接しているので連携する必要がある。2ブロックになると佐久から飯山までの中間的な地区になるのでより消防力が強まる。

## 循環型社会の担い手

# 新型交付税の影響は

厳しくなると予想



山城 賢一

問 19年度から、新型交付税が導入されたが状況はどうか。また、財源予測は。

町長 従来の算定項目が3割削減された、人口と面積を基本とする基準財政需要額の1割程度の措置である。不利な地域への対応として、地域振興費が創設された「がんばる地方応援プログラム」による割増算定で、基準財政需要額は3・8%増となった。普通交付税決定額は、前年比1億6千700万円(44・6%)の減、5億4千100万円である。チクマ精工跡地の再生計画で3千万円の措置も受けた。財政力指数の上昇が見られるが、交付税の取り巻く環境、一般財源の確保は厳しい。

問 財政健全化法で、19年

度決算から財政状況の公表が、義務づけになる。財政分析の状況と見通しは。

中村総務課長 実質公債費比率が18%を越えると、地方債発行が許可制になる。一般会計の元利償還金に合わせ、下水道特別会計、葛尾組合、消防組合など一部事務組合への負担金の、借金返済額を算定した指標であり、18年度は16・8%(県内町村平均18・4%)となる。今後の推移で20年度は、おおむね20%になるのかなと考えている。

問 バラ公園に係る整備計画の考えは。

町長 サミットに向けた周辺整備、ガイダンスの準備をしていく。押花展については、関係者と鋭意工夫していきたい。

# 正職保育士の雇用を

定員管理の問題がある



入日 時子

問 今後5年間で9人程の保育士の定年退職が見込まれるが、臨時保育士で対応するとの答弁である。子ども達は未来を担う大切な宝である。人間を育てるといふ仕事は、一朝一夕にはできない。経験の積み重ねが必要で、人件費の削減のために正職を臨時に変えて良いはずがない。

また、臨時保育士や厚生員など3カ月や6カ月の短期雇用のため、人が集まらず現場は人手不足で大変な状態である。本来、臨時職員とは突発的な仕事や短期の仕事のために雇用するもので、安全・安心の保育を行うためにも、臨時保育士ではなく、正職の保育士の雇用が必要だ。正職保育士の雇用計画と3カ月、6カ月の短期雇用を常勤的非常勤などの定期雇用に変更できないか。

中村総務課長 団塊の世代の退職が近づいていて、適正な職員採用をしたい。行政コスト縮減、定員管理の適正化推進に基づき、

勤などの定期雇用に変更できないか。中村総務課長 団塊の世代の退職が近づいていて、適正な職員採用をしたい。行政コスト縮減、定員管理の適正化推進に基づき、

計画的職員採用により、年齢構成の不均衡を解消しながら、21年までに職員を142人にする。3カ月、6カ月の臨時職員を常勤的非常勤との質問だが、定員管理という問題があり、常勤的非常勤も定員にカウントされ正職採用の足を引っ張る。定員管理が達成できないと交付税の算定にもひびく。3カ月6カ月雇用は必要な時間、期間お願ひする。役割分担として必要だ。



坂城保育園のもちつき大会

## 第1回臨時会

第1回臨時会が1月15日に開会され

町長から提出された請負契約および

一般会計補正予算の2議案を

原案どおり可決した。

## 補正予算

◎平成19年度一般会計補正予算(第8号)について

(全員賛成可決)

## 請負契約

### 村小体育館

### 耐震化工事着工

◎平成19年度村上小学校体育館改修工事請負契約の締結について

(全員賛成可決)

耐震化診断を受けて、安全・安心の学校づくりに向け、校舎からの連絡通路、体育館および器具庫の大規模改修工事を行う。1月11日に入札を行い、1億689万円で飯島・住建設共同企業体が落札した。

### 「歳出の内容」

- ◇低所得者等に対する灯油代の助成金 280万円
- ◇施設園芸農家に対する燃料費補助 100万円
- ◇制度資金に係る保証料補給金 700万円
- ◇中小企業振興資金貸付預託金 2千万円

緊急原油高対策事業として①低所得者等に対する灯油代の助成1世帯当たり5千円②施設園芸農家に対する燃料費補助1℔当たり3円(上限5万円)③中小企業対策に、制度資金保証料補給金、中小企業振興資金貸付預託金等総額3千80万円が補正された。

# 12月定例会

# 陳情審査結果一覧

件名	陳情者	付託委員会	審査結果	討論者
保険でより良い歯科医療の実現を求めることについて	長野県保険医協会 会長 鈴木 信光	社会文教 常任委員会	採 択 意見書提出	
在宅寝たきり高齢者への理美容サービス事業実施について	坂城町老人クラブ連合会 会長 小山伊勢男	社会文教 常任委員会	採 択	
「文化センター駐車場」の増設に関することについて	坂城町文化協会 会長 斉藤 進 長野県軟式野球連盟 坂城支部長 山崎登喜夫 長野県軟式野球連盟坂城支部 事務局長 塚田 博	総務産業 常任委員会	継 続 審 査	
後期高齢者医療制度の中止・撤回を求めることについて	長野県社会保障推進協議会 代表 東原 進	社会文教 常任委員会	不 採 択	反対討論 田中邦義 賛成討論 入日時彦 大森茂
深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求めることについて	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 一信	社会文教 常任委員会	採 択 意見書提出	
「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求めることについて	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 渡辺 一信	社会文教 常任委員会	採 択 意見書提出	
長野赤十字上山田病院の存続および救急医療の復活を求めることについて	全日本年金者組合坂城支部 支部長 前澤 新一 東信医療生活協同組合 常任理事 片桐 祐雄 理事 塚田美知子 坂城南支部長 宮下 盛造 坂城北支部長 松澤 瑞枝 新日本婦人の会坂城支部 支部長 片桐あい子 長野赤十字上山田病院を守る会 代表委員 松澤 秀紀	社会文教 常任委員会	採 択	

## ミニ用語解説

## 「請願・陳情ってなあに？」

町政等について、町民が直接議会に参加できる制度で、これを請願・陳情と言います。

### 請願

☆請願は、1名以上の議員の紹介を必要とします。受理されたものは、所管の委員会で慎重に審査され、本会議で採択・不採択を決定します

### 陳情

☆陳情は、議員の紹介は必要としません。請願と同様の方法で採択・不採択を決定します。

採択されたものは、関係機関に送付されます。

審議の結果は、請願・陳情の代表者にお知らせします。書き方等、詳しい内容については議会事務局までお問い合わせください。

陳情・請願は、いつでも受理しますが、定例議会の10日前までに提出されれば、審議されます。

## ひまわりで 地域おこし

総務産業常任委員会



町では、高齢化や後継者不足により耕作放棄地が増えているなか、荒廃農地は自治体としても苦慮する問題である。その解決策を探るべく、総務産業委員会では、10月22日群馬県みどり市を視察研修した。

みどり市は、18年2町1村が合併し、群馬県で12番目の市である。ここでは、離農による遊休農地にひまわりを植え、地域コミュニティをすすめられている。このひまわりは開花が9月～10月になる

ように種まきを遅らせ、9月下旬～10月中旬の『ひまわりまつり』には、近隣から約1万人の集客があり、地元農産物の直売等、農業収入増加に役立っている。

ひまわり畑は、国道に近く、地元区民と近くの会社の社員がボランティアで草刈りから種まき、維持管理を行っている。自分のできる範囲で楽しみながら参加することが長続きする秘訣で、参加者も増え、親睦も深まり地域おこしが図られている。

(入日時子)

## 「食のまちづくり」 に学ぶ

社会文教常任委員会

11月5日、社会文教委員会では、「食」をキーワードにした「食のまちづくり」を推進する福井県小浜市を視察研修した。

小浜市は、平成13年9月に、全国初の「食のまちづくり条例」を制定し、食を中心に産業の振興、環境の保全、健全な食生活の実践による健康長寿社会の実現児童教育などあらゆる分野の施策を総合的に推進している。

坂城町でも新しい給食センターをどのような形態にするか、模索中での視察であったので、多くを学び収穫が大きかった。

校区内で採れる食材を利用しているの校区内型地場産学校給食の実施で、まさに顔が見える学校給食であった



また、公費負担で幼児の料理教室「キッズ・キッチン」を開設し、幼児からの食育に力を入れていた。

当町においても『食育』の推進は、後世を見すえた総合的なまちづくりと、とらえていくべきであると感じた。

(大森茂彦)

# 後退させない 地域医療を

日赤上山田病院等  
地域医療対策特別委員会

は入院施設がないので、町の財源を当てるのはおかしいと説明し、町は独自の考えで対応していくのが望ましいとの考えを明かした。

日赤上山田病院等地域医療対策特別委員会は、地域医療を後退させてはならないと、去る10月12日、11月16日、12月20日に委員会を開いた。

10月の委員会では、町長担当課長の出席を求め、病院経営審議会での内容と対応について説明を求めた。病院が1年延期した場合の試算赤字1億3千万円の補填条件の提案に町長は、あくまで入院施設としての存在が前提である。診療所で

11月の委員会では、長野日赤病院と上山田病院の両院長、事務部長、課長の出席をお願いし、上山田病院の経営の実状と対応策について説明を求めた。6月の経営審議会で来年3月末で閉院の表明については、医師不足と医療制度改革による診療報酬の引き下げ、13億余の借入金による経営悪化が要因である。18年度当初より医師不足で救急医療の休止、入院機能維持が困難で病棟閉鎖、患者減少で他に紹介している実状である。1年延期の新体制案でも入院機能は持たず、内科医2名、整形外科医1名であり、後医療関係が見つからないと病院は一時空白となる、との説明であった。12月の委員会では、町、病院関係者の説明を踏まえ地域医療充実の対応策の検討を行った。

(柳沢昌雄)

## 上田地域市町村議会の 議員研修会開催される



財政や医療、福祉、環境など多様で高度化する行政課題に、議会が適切な対応を図るため、坂城町など上田地域2市2町1村の議会が合同で、毎年行っているこの研修会が1月16日上田創造館で開催され、本議会から全員が出席した。

研修会では、講師に政治評論家の板垣英憲氏を迎え「これからの日本の政治と地方自治のあり方」について講演が行なわれた。

講師は、元毎日新聞社で政治部と経済部の記者で、首相官邸詰めや首相番記者の経験をもとに、政治のあ

り方や課題などわかり易く解説し、あるべき方向を示された。

### 《講演要旨》

我国は戦後63年目を迎えて、歴史の裂目の真只中にあり、大改革が求められている。これからの日本は、誰かが壁を「ぶち破らなければ」ならない。誰が坂本龍馬や高杉晋作になり得るか。「どういう国をつくるか」国民にわかり易く示す必要がある。

「これからの地方自治のあり方」では、道州制や全国300の市へ大集約が言われているが、国政と地方政治の役割分担を明確にすみ分けることが必要。

地域の活性化として「地域の名産品や資産などを的確に評価、棚卸し」市場化へ戦略性をもって、独自の有効活用を図ることが大切だ。さらに、地域に埋もれた商標権など知的財産の権利化で財産化を確実にし、地域から多様な産業を興す工夫が重要であり、環日本海へ目を向けることにヒントがある。(田中邦義)

# 子どもたちの

# メッセージ



発表する村上小学校6年生の皆さん



村小6年西組  
内川 彩花

私たちは、村上の歴史ある建物などを調べました。たまに通って、何気なく見ていたお寺が、何百年も前に建てられていたり、た

まに歩いていく場所に神様がまつられていたり、意外なところが意外な歴史を持っているんだな、と思いました。  
特に西教寺。友達と歴史ある建物を探していたときは、ふつうのお寺と思っていただけけれど、実際は平安時代から続いているそうで、びっくりしました。



村小6年西組  
宮下 結多

村上の歴史や村上氏の事を勉強しての感想は、今まで何気なく見ていた所や遊んでいた所にとっても深い歴史があっただけで、おどろきました



村小6年西組  
内山 里桜

初めて、村上氏フォーラムにでて、自分達が調べて分かった事や考えた事を発表できてよかったと思います。そして、坂城小学校と南条小学校の村上氏の発表を聞いて、分かった事もたくさんありました。坂城町には、たくさん歴史がある事も分かりました。3つの学校と発表し合い、初めて知った事もあり、とてもいい村上氏フォーラムになったと思います。

村上氏の事は勉強する前は、村上義清の事しか知らなかったけど、勉強をしてとてもすごい人たちがこの坂城町にいたのだと勉強になりました。  
村上氏フォーラムで発表しての感想は、何回も何回も覚えられるまで練習し、精いっぱいできてよかったです。



▼<sup>ね</sup>子年は干支の最初、ネズミはお金の神様・大黒さまの使いとされ縁起が良い。「鼠宿」はツツガ虫退治の大鼠と、唐猫の格闘の伝説がある。また、村上氏が和合城周辺で、寝ずの見張りをしたことで「寝ず見」と呼び、「鼠」に転じたとも町誌に記されている。

町の特産「ねずみ大根」による焼酎が誕生した。こだわりの逸品に期待する。

▼平成14年「土木遺産」に認定された昭和橋は、災害復旧事業により改修工事が始まる。鉄筋コンクリートのローゼ橋は、ふるさとの貴重な財産であり、大切に残していきたい。

▼編集委員一同、議会だよりの編集を通じて、町民の皆さんに開かれた議会として、わかり易くお伝えできるように取組んでいきます。ご感想をお寄せください。

(山城賢一)